

「経緯同盟会々員名簿」

タイトル	「経緯同盟会々員名簿」
編集者名	隅田正三
雑誌名	能海寛研究会機関誌『石峰』
号	第 29 号
ページ	61
発行年	2024.3.15
E-mail	Sekihou@haz away.com(能海寛研究会)

ISSN 1883-4183



経緯同盟会々員名簿

番号	氏 名		住 所	摘 要
1	北条大洋	越前	神田北神保町十一岡本方	伯
2	正木 新	肥前	京都建仁寺	
3	杵村廣太郎	紀伊	京都三十通八条町六十	
4	海野詮教	岩代		
5	境野哲海	陸前	本郷片町十六	
6	西依一六	肥前	牛込南小仕町二	
7	田上為吉	肥後	廿九年六月廿八日芝山内ニテ亡	燕庵
8	菊池謙讓	肥後	麹町三番町六十五	朝鮮長風
9	小林正盛	下総	小石川音羽真言宗大学林内	雨峯
10	月見覚了	近江	京都大仏正面下ル華新日明釜	
11	渡辺海旭	東京	小石川表町光雲寺町	壺月
12	山口力磨	肥前	芝区三田北寺町長延寺中	
13	柏原文太郎		牛込早稲田専門学校	
14	古河 勇		摂津西須磨鶴谷方	老川
15	大久保樹造		京都西洞院花屋上ル武田方	
16	葦原雅亮		芝三田北寺町長延寺中	
17	伊沢道暉		同上	
18	吉田友吉	陸中	牛込柏原宛	
19	本多證雲	羽前	小石川区大塚町七十一	
20	梶 宝順	三河	浅草吉野町十三	雪香
21	花田凌雲		京都大学林	
22	梅原 融	越前	京都	
23	桜井義肇	摂津	本郷区西片町十	
24	菅 学應		芝白金志田町卅五	
25	清川円誠		京都	
26	能海 寛	石見	麹町区下二番町十三	清国
27	田嶋 擔		在英国	英国
28	金 義鑑	尾張	本郷駒込区東片町百五十三	
29	中島裁之	肥後	在清国	清国
30	木山定生	肥前	京都本願寺大学林	
31	菅 眞海	石見	京文学寮	浦塩
32	妻木直良		山城葛野郡七条村桜ヶ小路山田松華方	
33	佐々木恵璋		紀伊有田郡廣村耐久舎	
34	梅田謙敬	石見	京大学林	
35	旭野慧憲		本郷駒込追分町内田集之助方	
36	重田友助		在暹羅	暹羅
37	鈴木貞太郎		在米国	米国
38	高楠順次郎	神戸	神田錦町榎木館	英獨
39	古田復之	美濃	神田猿平町板垣方	朝鮮
40	安藤 弘	三河	本郷駒込東片町廿三	
41	大宮孝潤		常陸国	印度

※ 高楠順次郎の住所欄に書込み、「明治32年10月5日博言学講座擔任ヲ命トス、前年博士。上田」

【解説】「経緯会」の歴史は、明治23年1月19日に、普通教校出身者で「経緯同盟会」を起こし、古河勇等により、明治27年12月に、「経緯会」が設立された。その後、古河勇が病氣療養に付、北条大洋が主筆となり、その北条が外交官として洋行するため、西依一六が主筆となり、会再興のため、明治30年8月19日、会是を改め「経緯同盟会」と名称変更した。明治31年に、西依から境野哲海へと主筆が引き継がれた。

能海寛は、探検行の為、明治31年6月に故郷へ帰り結婚。同年10月4日に西藏探検行の為、郷里を出発。

この「経緯同盟会」の名簿は、能海寛が西藏探検行に持参した名簿である。明治32年10月5日付の高楠氏

の書込みは、上田麦生からの書簡情報によるものであった。(隅田)